

「神林地区地域活性化推進事業」について

1 事業化を行う方向性及び実施期間

方向性の基となる施策：「定住の里づくり アクションプラン」の中の
「Ⅲ 地域活性化に向け各地域で特に取り組む施策の方向性」

実 施 期 間 ； 後期実施計画期間中(平成26年度から平成28年度まで)

2 事業種別の決定から実施までのスケジュール

(1) 事業種別の決定

平成24年度に、どのような事業を行った方がよいかを決定

(2) 実施年度について

ア 最も早い事業実施のスケジュール

平成24年度第4回 平成25年2月19日(どのような事業を行った方がよいかを決定)

平成25年度第1回 5月(事業計画案検討)

平成25年度第2回 7月(事業計画案検討)

平成25年度第3回 9月(事業計画の決定、予算計上の確認)

平成25年度第4回 2月(事業実施について)

イ 上記以外では、計画を複数年度で行い、その次年度又は複数年度に分けて行う場合もあります。

3 第1回及び第2回地域審議会での神林地区活性化に向けた意見提案(抜粋)

(1)意見提案

【第1回】

ア 4年間も審議会で話し合っているのに、実際どうしていくか、具体的なことを話し合っていけばよいのではないかと思います。

イ 産業、教育、スポーツ、健康など、柱を決めて議論したほうが整理しやすいと思います。

ウ 旧神林村のあるべき姿を議論していくことが目的ですね。

エ これから神林地区のよりよい姿をこの審議会で検討してプランを作っていくということですね。そういう方向で整理していけばよいですね。

【第2回】

カ お幕場茶会には、約2,000人の参加があったし、平林城跡の知名度も上がってきているので、観光に結びつく一体的な施策ができればと思っています。

キ 神林の観光施設や史跡など知らないところもあります。神林のロードマップを作ったらと思います。

ク 農業に関しては道の駅を拠点として、農産物や地域の紹介などをできるようになればと思っています。

ケ お幕場や平林城跡はイベントを行わなければ人は集まらないと思います。神林地区では道の駅は多くの利用者があるし、パルパークでは多くのイベントを行って大勢の人が集まっているので、既に人が多く集まっている施設を利用して交流人口の拡大を行えば良いと思っています。

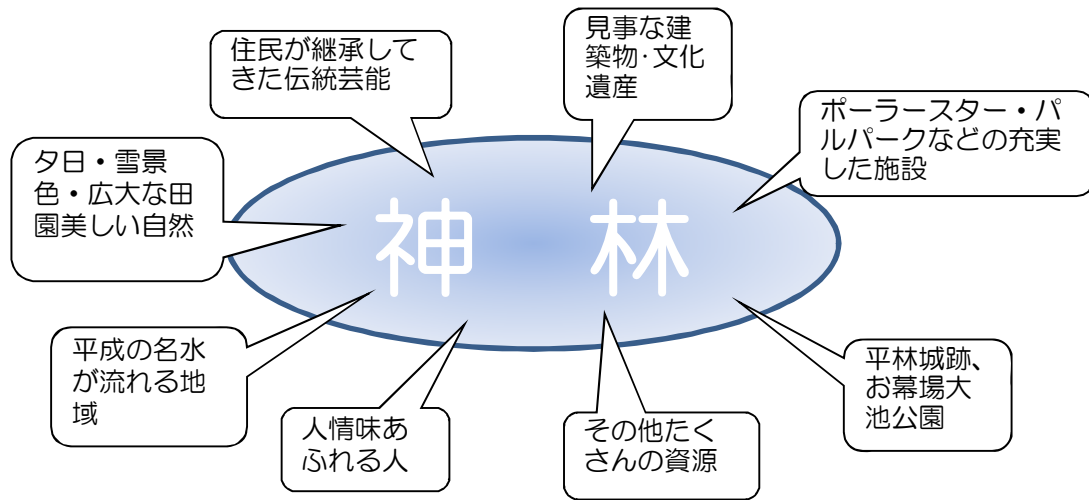
コ 人を呼ぶ、交流人口を増やすというテーマを決めれば、道の駅やパルパークや他の施設の利用も活性化の施策として考えられると思います。

サ 農業についてもこの地域は農業を中心に動いているので、農業が活気づけば他の産業も連鎖的に活気づいていくかと思う。

シ 農業関係の文言については、誰でも読めばすぐ解るようなインパクトのある具体的な文言を入れた方が良いと思って発言しました。

ス わざわざイベントを行わなくても、冬の大池には白鳥の見学に大勢の人が来ています。知っている人もいますが、知らない人も多くいるかと思っています。まずはみなさんに知らせる、知ってもらうことが大事だと思います。そういった箇所を載せたマップづくりを行ったらと思います。

(2) 事業提案について



第1・2回の提案の中のキーワード

- ・神林の良いところを知らせる
- ・結びつける
- ・柱を決めてる
- ・拠点を利用して交流の拡大
- ・インパクトのある言葉

キーワードを基にした少し具体的な内容（事務局検討）

- ・インパクトのあるキャッチコピーをつけて活動を展開。
- ・稀少でも隠れたおいしいもの、人材、資源の発掘。
- ・地元の人達がふるさとの良さに気づき、自信を持って地区外にPRできるような仕掛けづくり。
- ・点になっている地域資源を、線をつなぎ、更に面に広げる工夫。
- ・四季を通じた魅力の発掘、創出。
- ・全域”平成の名水”で作ったお米。
- ・味、体験、歴史、自然等テーマごとのルート化。
- ・他地区（瀬波温泉、荒川地区等）と連携した取り組み。
- ・SNS（ソーシャルネットワークサービス）などの利活用。

